

暮らしく

大阪木材工場団地協同組合50周年

大阪木材工場団地協同組合はこのほど、創立50周年記念事業の一環として堺市美原区木材通4丁目の同組合会館南側で木造の飲食施設の上棟式を行った。

建設地には87年以降、同組合の福利厚生施設として丸太組み工法の喫茶施設が設けられていたが、老朽化のため11年に解体・撤去。その後、同組合の運営計画に基づき、跡地における新たな施設の建設を決めていた。

使用木材は国産材のSSD球磨杉・檜に限定。上棟式には、熊本県のマスコットキャラクター「くまモン」も登場した。同組合では6月下旬まで

堺に木造飲食施設



くまモンも登場した上棟式

に全体を完成させ、8月下旬以降、福利厚生および一般客向けのイタリア料理店(客席約60席)と

加工技術結集 上棟式にくまモンも

方桁、柱や梁などに約25立方メートルを使用。床材にはクリ、デッキ材にはウリンを使うなど、林業関連団体系しく、上質の木材を最大限利用している。

上棟式で同組合の浦本雅史理事長(浦本木材社長)は「国の国産材の利

用促進策を受け、良質な木材を使いたい、と考えた。多種多様な内外装材と木材加工技術を駆使した施設になる」とあいさつ。中村暢秀副理事長(紅中会長)も「大阪港木材

して営業を始めた、と倉庫(大阪市住之江区)や大阪木材仲買会館(同市西区)など、木造新建築物が揃っている。堺にも新しく木造の飲食施設ができるのはタイミングがいい」と語った。

設計を担当した一級建築士事務所の式田完氏は「『木のおもてなし』の空間をコンセプトとしてデザインした。工法は国産材の利用・普及を願って木造軸組み工法とし、木の香りがする、空気のおいしい環境設計を目指した。木の良さを実感してもらえる施設にした」と述べた。

同組合には、木材加工技術を持つ企業など50社が加入し、国産木材の利用・普及の啓発活動などに取り組んでいる。同組合のURLは<http://www.wood.or.jp>。